



安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL (03) 3270-2701
FAX (03) 3270-2720
緊急連絡 同上
改訂日 2024/07/01
SDS整理番号 01205350

製品等のコード : 0120-5350、0120-5360、0120-5370、0120-5380、0120-5390、0120-5270

製品等の名称 : モノエチルアミン溶液 70% (エチルアミン溶液)

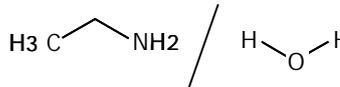
推奨用途 : 試薬

参考: その他の用途 (当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。) 合成中間体、医薬品原料、染料中間体、ゴム薬品原料、農薬 (除草剤) 原料、界面活性剤原料、塗料原料 など

使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



2. 危険有害性の要約



GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 区分4
急性毒性 (経皮) : 区分3
皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1 (呼吸器系)、
区分2 (腎臓)

環境に対する有害性
水生環境有害性 短期 (急性) : 区分3

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害 (経口)
皮膚に接触すると有毒 (経皮)
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による呼吸器系、感覚器の障害
長期又は反復ばく露による腎臓の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き

【安全対策】
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること、アースをとること。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器などを使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 ミスト、蒸気、粉じん、煙、ガス、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は、よく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと、取り除くこと。
 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合：水で30分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。
 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

日光を遮断し、容器を密閉し換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物 (70%エチルアミンの水溶液)
化学名、製品名	: モノエチルアミン溶液 70% (別名) エチルアミン溶液、エタンアミン溶液、アミノエタン溶液 (英名) Monoethylamine solution 70%、Ethylamine solution、Ethanamine solution、Aminoethane solution、Ethylamine (エチルアミンとして、EC名称)、Ethanamine (エチルアミンとして、TSCA名称)
成分及び含有量	: エチルアミン、70.0%以上
化学式及び構造式	: C ₂ H ₅ NH ₂ 、C ₂ H ₇ N、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子重量	: 45.10
官報公示整理番号	: (2)-130
化審法	: 公表化学物質 (化審法番号を準用)
安衛法	: 75-04-7
CAS No.	: 200-834-7
EC No.	: 200-834-7
危険有害成分	: エチルアミン

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに医師に連絡する。 直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 速やかに皮膚を多量の水と石鹸で洗う。 洗浄開始が遅れたり、洗浄不十分の場合は、皮膚障害のおそれがある。 皮膚刺激などが生じた時は、医師の手当を受ける。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	: 直ちに医師に連絡する。 直ちに、水で30分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して固着していなければ除去し、洗浄を続ける。 まぶたを親指と人さし指で広げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの間々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 眼の洗浄が遅れたり、不十分の場合は、眼の障害のおそれがある。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。 眼刺激が消失しても、遅れて障害が現れることがあるので、必ず医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: 口をすすぎ、うがいをする。無理に吐かせてはいけない。 吐かせると再びのどや食道を通り二重に刺激・損傷を受けることになる。 直に牛乳や卵を飲ませて毒性を希釈する。 牛乳、卵がない時は、コップ数杯の水を飲ませ、体内で毒性を薄める。 嘔吐が自然に生じた時は、気管への吸入が起きないように身体を傾斜させる。 嘔吐後、再び水を飲ませる。

- 意識がない時は、何も与えない。
 気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。
- 予想される急性症状及び遅発性症状：
 吸入 ; 灼熱感、咳、頭痛、咽頭痛、息苦しさ、息切れ
 皮膚 ; 発赤、痛み、重度の皮膚熱傷
 眼 ; 発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷
 経口摂取 ; 腹痛、灼熱感、ショックまたは虚脱
 遅発性症状 : 肺水腫
- 応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて保護具（有機ガス用防毒マスクなど）を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 安静と医学的経過観察が不可欠。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 本品は引火性、可燃性で極めて燃えやすい。
 粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、散水
 大火災の場合、空気を遮断できる泡消火剤が有効である。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水（本品があふれ出し、火災を拡大するおそれがあるため）
- 特有の危険有害性 : 極めて燃え易いので、熱、火花、火炎で容易に発火する。
 加熱により容器が爆発するおそれがある。
 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を遮断する。
 火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 : 有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、
 空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
 風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
 皮膚、眼など身体とのあらゆる接触を避ける。
 蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。
 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
- 環境に対する注意事項 : 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
- 回収、中和 : 少量の場合、漏洩物を水で覆った後（本製品は比重が大きいので水を加えると水が漏洩物表面を覆うので危険性が低下する）、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し密閉できる空容器に回収する。
 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉できる空容器に回収する。
 大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
 漏洩エリア内で稼働させる設備・機器類は接地する。
 蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。
- 二次災害の防止策 : 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
 周辺の発火源を速やかに取除く。
 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
 住居地域及び工業地域の居住者に警告し、場合により危険地域から避難する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 技術的対策 : 裸火禁止、火花禁止、禁煙。強力な酸化剤との接触禁止。
 引火点(-24)以上で使用する場合は、工程の密閉化および防爆型換気装置を使用する。
 ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
 指定数量以上の量を取扱う場合、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行なう。
 指定数量以上の危険物を貯蔵し、取り扱う場合は消防法に基づく許可が必要で、危険物貯蔵所に保管する。
 指定数量の1/5以上、1未満（少量危険物）の場合も、少量危険物貯蔵所に保管し、法の規制を受け、最寄の消防署に届出を行う必要がある。
 指定数量の1/5未満の危険物の貯蔵・取り扱いについては届出の必要は

	ない。
	炎、火花または高温体との接触を避ける。
	静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。
局所排気・全体換気	本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。 : 防爆型の換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。 蒸気は空気より重く、床に沿って移動することから、床面に沿って換気する。
安全取扱い注意事項	: すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 空気と混合すると、爆発の危険性がある。 漏洩すると、爆発する危険性がある。 漏洩すると、材料を腐食させる危険性がある。 皮膚、粘膜等に触れると、炎症を起こす。 目や口に入ると刺激を受けることがあり、使用の際には十分気を付ける。 取扱い後はよく手を洗う。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。
接触回避	: 炎、火花または高温体との接触を避ける。
保管	
技術的対策	: 保管場所は壁、柱、床等を耐火構造とする。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けない。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設ける。 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。
保管条件	: 光のばく露や高温を避けて保管する。 容器は遮光する。 容器を密閉して換気の良い冷暗所に保管する。 一定の場所を定めて、施錠して保管する。 貯蔵する所には、「火気厳禁」の表示を行う。 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
混触危険物質	: 強酸化剤、酸、有機化合物、 金属(亜鉛、アルミニウム、すずなどを腐食する)
容器包装材料	: ガラスなど

<参考> 室温での容器包装材料の耐薬品性(あくまでも目安、保証不可、実用試験確認必要)

本品のデータなし。
モノエタノールアミンのデータを示す。

【 :良好 :やや良好(条件による) :やや不良 x:不良 -:データなし 】

スチレンゴム クロロブレンゴム(ネオブレン) ニトリルゴム× ブチルゴム
天然ゴム シリコーンゴム フッ素ゴム(バイトン、ダイエル) テフロン
軟鋼 ステンレス(SUS304 SUS316) チタン アルミニウム 銅
軟質塩ビ× 硬質塩ビ× ポリスチレン - ABS - ポリエチレン ポリプロピレン
ナイロン アセタール樹脂 - アクリル樹脂 - ポリカーボネート ガラス

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):	
日本産衛学会	10ppm 18mg/m3
ACGIH	TLV-TWA 5ppm TLV-STEL 15ppm(skin)
設備対策	: この物質を貯蔵しないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 防爆の電気・照明機器を使用する。 作業場には防ばく型の換気装置を設置し局所排気又は全体換気を行なう。 静電気放電に対する予防措置を講ずる(アース等の使用)。
保護具	
呼吸器の保護具	: 呼吸器保護具(アルカリ用防毒マスク、有機ガス用防毒マスクなど)を着用する。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。 ネオブレン製のものが推奨される。
眼の保護具	: 眼の保護具を着用する。

	化学飛沫用のゴーグル及び顔面保護具を着用する。 安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が 起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールド を着用する。
皮膚及び身体の保護具:	保護衣、顔面用の保護具を着用する。 一切の接触を防止するにはネオプレン製の、手袋、エプロン、ブーツ、 又は全体スーツ等の不浸透性の防具を適宜着用する。
衛生対策:	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 汚染された作業衣は作業場から出さない。 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
性状	: 液体
色	: 無色
臭い	: 特異臭(アンモニア類似臭)
pH	: 約14 強塩基性
融点	: -60
凝固点	: データなし
沸点	: 約38
引火点	: -24 (密閉式)
可燃性	: 引火性
爆発範囲	: 3.5 ~ 14 vol%
蒸気圧	: 42.3 kPa (20)
相対ガス密度(空気 = 1)	: 1.6
密度又は相対密度	: データなし
比重	: 0.78 ~ 0.81 (20/20)
溶解度	: 水と混和しやすい。アルコールに混和しやすい。
オクタノール/水分配係数	: log Pow = -0.13
発火点	: 385
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
粒子特性	: データなし

GHS分類	
引火性液体	: 引火点が-24 で<23 および初留点が約38 で>35 より、区分2 とした。 引火性の高い液体及び蒸気(区分2)

10. 安定性及び反応性

安定性(反応性・化学的安定性)	: 通常の実取条件において安定である。 光のばく露により徐々に分解する。
危険有害反応可能性	: 酸や強酸化剤と混触すると、激しく反応し火災や爆発の危険をもたらす。 加熱すると爆発することがある。 金属(亜鉛、アルミニウム、すずなど)に対して腐食性がある。 本製品の蒸気は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動することが あり、遠い火源でも引火、爆発する危険性がある。
避けるべき条件	: 日光、光、熱、火源、静電気、スパーク
混触危険物質	: 酸、強酸化剤、有機化合物
危険有害な分解生成物	: 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物を生成する。

11. 有害性情報

本品のデータがないため、「エチルアミン」と「水」の混合物として、有害性を評価した。

急性毒性	: 経口 飲み込むと有害(経口)(区分4) 経皮 皮膚に接触すると有毒(経皮)(区分3) 吸入(ガス) 区分に該当しない。 吸入(蒸気、ミスト) 分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: pH11.5以上のエチルアミンが1%以上含有するため、区分1とした。 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: pH11.5以上のエチルアミンが1%以上含有するため、区分1とした。 重篤な眼の損傷(区分1)
呼吸器感作性	: 分類できない。
皮膚感作性	: 分類できない。

- 生殖細胞変異原性 : 分類できない。
 発がん性 : 分類できない。
 知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSAの国際評価機関の報告がないため、分類できない。
- 生殖毒性 : 分類できない。
 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : 呼吸器への刺激のおそれ(区分3)
 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : 長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害(区分1)
 長期又は反復ばく露による腎臓の障害のおそれ(区分2)
- 誤えん有害性 : 分類できない。

参考 エチルアミン〔CAS No.75-04-7〕の情報

- 急性毒性 : 経口 ラットLD50= 400mg/kg (ACGIH(2001))に基づき、区分4とした。
 飲み込むと有害(経口)(区分4)
 経皮 ウサギ LD50=390 mg/kg (ACGIH (2001))に基づき、区分3とした。
 皮膚に接触すると有毒(区分3)
 吸入(気体) ラット LC50=6842 ppm (IUCLID (2000))に基づき、区分5とした(国連GHS分類)。
 ただし、分類JISでは区分に該当しないである。
 吸入すると有害のおそれ(気体)(区分5)
- 皮膚腐食性/刺激性 : 動物実験で皮膚の壊死・やけど(ACGIH (2001)及びPATTY (5th, 2001))、腐食(IUCLID (2000))の記載に基づき、区分1とした。
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1)
- 眼に対する重篤な損傷/刺激性: 本物質は皮膚腐食性物質であり、ヒトで眼刺激性および角膜浮腫(ACGIH (2001))、動物実験で重度の損傷(PATTY (5th, 2001))、重度の刺激性(ACGIH (2001))の記載およびEU-Annex I : Xi; R36/37に基づき、区分1とした。
 重篤な眼の損傷(区分1)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性: 分類できない。
 皮膚感作性: 分類できない。
- 生殖細胞変異原性 : 分類できない。
 in vivo変異原性試験の結果がなく、in vitroで複数指標の陽性結果がないので、技術指針に従い分類できないとした。
- 発がん性 : 分類できない。
 知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSAの国際評価機関の報告がないため、分類できない。
- 生殖毒性
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない。
 ヒトでの情報として気道を著しく刺激する(ICSC(J) (2002))の記述及びEU-Annex I : Xi; R36/37の分類に基づき、区分3(気道刺激性)とした。
 呼吸器系への刺激のおそれ(区分3)
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : ウサギにおいて区分1のガイダンス値範囲の吸入暴露で気管支周囲炎や間質性肺炎がみられた(ACGIH (2001))の記載により、区分1(呼吸器系)とした。また、ウサギにおいて区分2のガイダンス値範囲の吸入暴露で腎臓の実質性変性がみられた(ACGIH (2001))の記載により、区分2(腎臓)とした。
 長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害(区分1)
 長期又は反復ばく露による腎臓の障害のおそれ(区分2)
- 誤えん有害性 : 分類できない。

12. 環境影響情報

本品のデータがないため、「エチルアミン」と「水」の混合物として、有害性を評価した。

- 生態毒性
 水生環境有害性 短期(急性): 水生生物に有害(区分3)
 水生環境有害性 短期(慢性): 区分に該当しない。
 エチルアミンと同様に、急速分解性があり、生物蓄積性が低いと推定されるので、区分に該当しないとした。
- 残留性・分解性 : データなし
 生物蓄積性 : データなし
 土壤中の移動性 : データなし
 オゾン層への有害性 : 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

参考 エチルアミン〔CAS No.75-04-7〕の情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	: 甲殻類(オオミジンコ) 24時間EC50=94mg/L (AQUIRE、2003) 水生生物に有害(区分3)
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない。 高濃縮性でないと判断される物質である(Log Pow = -0.13)。 急速分解性があり(BODによる分解度: 90%(既存化学物質安全性点検データ))、かつ生物蓄積性が低いと推定されることから、 区分に該当しないとした。
残留性・分解性	: 良分解性。BOD分解度 = 90%
生物蓄積性	: 低濃縮性。Log Pow = -0.13
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して廃棄物処理を委託する。 廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 必要に応じて、廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。 (参考)(1)燃焼法 可燃性の溶剤等と共に噴霧するか、又はケイソウ土、木粉(おが屑)等に吸収させて、アフターバーナー及びスクラパー付き焼却炉の火室で焼却する。 (2)活性汚泥法 生分解性があるので、活性汚泥処理が可能である。
汚染容器及び包装	: 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号 [UN No.]	: 2270
品名 [Proper Shipping Name]	: エチルアミン(水溶液)(濃度が50質量%以上70質量%以下のもの) [ETHYLAMINE, AQUEOUS SOLUTION with not less than 50% but not more than 70% ethylamine]
国連分類 [UN Hazardous Class]	: クラス 3 [CLASS 3] [引火性液体 [Flammable liquids]]
副次危険 [Sub Class]	: グラス 8 [CLASS 8] [腐食性物質 [Corrosive substances]]
容器等級 [UN Packing Group]	: II
海上規制情報	: IMO の規定、IMDG に従う。 海洋汚染物質(海洋汚染面からの危険物): 非該当 [No] MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類: Y (エチルアミン及びその溶液(濃度が七十二重量パーセント以下のものに限る。))
航空規制情報	: ICAO/IATA の規定に従う。
陸上規制情報	: ADR/RID の規定に従う。 少量危険物許容量: 1L
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法、道路法等の規定に従う。 容器: 危険物の規制に関する規則 別表第3の2 参照 (注) 容器は危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第68条の5に定める容器試験基準に適合していることを確認すること。
容器表示	: 1. 特殊引火物、水溶性、危険等級、化学名 2. 数量 3. 火気厳禁

- 積載方法 : 運搬時の容器積み重ね高さ... 3m以下
 混載禁止 : 消防法危険物第1類及び第6類、 高压ガス
 海上規制情報 : 船舶安全法、危規則等の規定に従う。
 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
 特別の安全対策 : ・ 収納容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積載し、荷崩れ防止を確実にし、収納容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。その他一般的な注意事項は、7. 取扱いおよび保管上の注意の項による。
 ・ 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。
 ・ 運搬中に収納容器から著しく漏れる等の災害が発生する恐れがある場合、災害防止の応急処置を講ずると共に、最寄りの消防機関その他の関係機関に通報する。
 ・ 車輛等による運搬の際には、荷送人は運送人にイエローカードを携帯させる。
 ・ ローター、運搬船には所定の標識板、消火設備、災害防止用応急資材を備える。

緊急時応急処置指針番号 : 132

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物
 (政令番号 第64号「エチルアミンを1%以上含有するもの」)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 (政令番号 第64号「エチルアミンを1%以上含有するもの」)
 (令別表第9)
 (注) 令和7年4月1日以降、政令番号: 規則別表第2の第211号に変更
- 危険物・引火性の物
 (施行令別表第1第4号)
 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の
 使用義務物質「皮膚刺激性有害物質、皮膚吸収性有害物質」
 「エチルアミンを1%以上含有するもの」
 (安衛則第594条の2)
- 化審法 : 非該当 (2023/03/31優先評価化学物質の取消)
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 化学物質排出管理促進法 (PRTR法) : 非該当 [2023年 (R5年) 4月1日施行の法改正にも非該当]
 消防法 : 危険物第4類引火性液体、特殊引火物 水溶性 指定数量50L、危険等級
 (法第2条第7項危険物別表第1)
- 船舶安全法 : 引火性液体類 (危規則、第3条、危険物告示、別表第1)
 航空法 : 引火性液体 (施行規則、第194条、危険物告示、別表第1)
 海洋汚染防止法 : 有害液体物質 Y類物質「エチルアミン及びその溶液 (濃度が七十二重量パーセント以下のものに限る。)」
- 大気汚染防止法 : 非該当
 輸出貿易管理令 : キャッチオール規制 (別表第1の16項)
 HSコード: 2921.19
 第29類 有機化学品
 ・ 輸出統計番号 (2024年1月版): 2921.19-000
 「アミン官能化合物
 - 非環式モノアミン及びその誘導体並びにこれらの塩:
 その他のもの」
 ・ 輸入統計番号 (2024年4月1日版): 2921.19-000
 「アミン官能化合物
 - 非環式モノアミン及びその誘導体並びにこれらの塩:
 その他のもの」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

参考文献

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ | 化学工業日報社 |
| 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ | 化学工業日報社(2007) |
| 化学物質の危険・有害便覧 | 中央労働災害防止協会編 |
| 化学大辞典 | 共同出版 |
| 安衛法化学物質 | 化学工業日報社 |
| 産業中毒便覧(増補版) | 医歯薬出版 |
| 化学物質安全性データブック | オーム社 |
| 公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) | 三共出版 |
| 化学物質の危険・有害性便覧 | 労働省安全衛生部監修 |

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。